

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.4 2021年 8月 15日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

青森支部・つがる支部結成

フォーラム青森支部結成総会は7月24日、ローフク会館で開催され、24名が参加した。

升田衆院議員候補予定者の挨拶を受け、衆院選勝利に向け決意し、役員構成などを確認した。

議論の中では、フォーラムと立憲とのかわりについて質問があった。これに対し、県フォーラムからは「フォーラムは、立憲との合流が前提で設立され、地域の事情によって、立憲に行けない方もあることか

らその受け皿としての組織である。したがって、立憲との連携は深めていきたい」と答弁があった。

さらに、立憲の安保対策についても質問があった。これに対し「立憲については、先日日米地位協定の見直しを政策の中に盛り込むことが報道され、安保問題についても当初の考えと変化が生じてきている、この点を評価し地方からの改善を図っていかなくてはならない。」との答弁を行った。

7月23日には、弘前ヒロロでフォーラムつがる支部が、結成された。つがる支部は弘前・南黒・五所川原地区の会員で構成され、当日は8名の参加でした。

青森支部と同じく立憲とのかわりについて議論がされ、役員について確認された。その中で、以前に意思確認した方について入会申し込みがないこともあり、再度確認す

ることが確認され三地区の連携を深めていく事が確認された。
青森・つがる両支部の役員体制は次のとおり(三役のみ)

■青森支部	
代表	蛸名 和子
副代表	仲谷 良子
事務局長	宮崎 孝
会計	芳賀 作
■つがる支部	
(副代表等については後日補強)	
代表	赤平 泰衛
事務局長	長利 光夫

オスプレイ低空飛行で防衛省交渉



7月、青森県や周辺自治体に連絡もないまま、横田基地や沖縄・嘉手納基地のオスプレイが飛来し、小川原湖上空で訓練を行った。さらに、沖縄の米軍海兵隊が約300名も参加し共同訓練を行っている。その際、小川原湖上空での実弾射撃もあったのではとの疑問もあり、非常に危険な行為がなされている。オスプレイは、基本的に最前線に海兵隊や特殊部隊などの輸送機であり、事故の多い輸送機でもある。そこで、吉田忠智参議院議員が7月15日の来青した際、この問題を取り上げてほしい旨、お願いした。吉田議員は、翌16日に防衛省に質問通告をし、7月26日に防衛省担当者と交渉を行った。

防衛省からは、審議官と地方協力局職員・在日米軍協力課職員が出席し、レクチャーを受けたとの報告を受けた。

質問内容は、①小川原湖上空でのオスプレイ飛行の事実 ②訓練・計画の全貌 ③青森県・東北町から提出された要請書への対応 ④地方自治体に対する事前連絡や通知なしでの実施は、日米安保条約第6条に照らし合わせた場合防衛省はどのように考えるのか ⑤米軍の新たな訓練の実施について、当該自治体とこれまでどのような約束をしてきたのか。また協定等の有無を含めて確認する。

回答の概要は、①安全管理の徹底、地域へ与える影響を最小限にとどめることについて防衛省から米軍に申し入れを行ったが、その実効性については不明 ②青森県や東北町からの要請書は受け止めているが、防衛省がどのような対策をとったかは明言しなかった ③米軍ヘリコプターの中から銃を下に向けて撃っている訓練については、三沢対地射撃場で射撃訓練というのも項目に入っており「問題」はないと認識している ④湖上からの引き上げ訓練は普天間飛行場からの訓練移転で、三沢基地で行うのは初めてである。

(詳細な報告が来ていますが、紙面の関係上省略します。ご了承願います。)



八戸支部も結成

(7/20 デリーー東北より転載)

社民党青森県連の旧黨員を中心に組織する政治団体「社会民主主義フォーラム青森」の八戸支部が19日までに発足した。代表には山名文世八戸市議が就き、平和や護憲活動などに取り組む。

17日に同市の三八労働福祉会館で設立総会が開かれ、役員体制と運動方針を決定。秋までに実施される衆院選では青森2区に立憲民主党公認で出馬を予定する高畑紀子氏(57)を支援することを決めた。

役員では山名代表のほか、副代表

に鶴飼弘美氏、幹事長に後藤勝氏を選出。当面は旧黨員ら30人ほどが参加するという。山名代表は取材に「社会民主主義の理念を引き継いで活動していきたい」と述べた。

同フォーラムは立民県連に合流した社民県連の旧黨員らが中心となつて今年2月に発足。立民県連の政党活動とは別に、平和や反核・原発の運動などに取り組んでいる。※【結成総会報告を市役所記者クラブに送ったところ、取材を受けましたので転載しました。なお総会参加者は20名でした。】

升田世喜男予定候補を迎え 立憲民主党むつ下北総支部で 党員・サポーター集会開催!



立憲民主党むつ下北支部は8月1日、午後2時より下北文化会館で支部結成以来はじめてとなる党員サポーター集会を開催しました。

集会には30数名が参加し、立憲民主党の政策を訴える枝野代表のビデオ映写で始まりました。その後、能登勝彦支部長(風間浦村議)の挨拶及び杉浦弘樹幹事長からの支部結成の経過報告や役員の紹介があり、升田世喜男氏からの決意表明などがありました。その後は升田氏の議員時代の国会質問の映像を見た後で、参加者との対話集会を実施しました。この中では党側への要望として、支部内に女性役員がいないことの指摘、今や政治活動の必須アイテムであるパソコンやスマートフォンといったSNS(ソーシャルネットワーク)を通じた情報発信を強めるべきとの意見、県内での衆院選の野党共闘の実現の見通しやそのための努力の必要性などが求められました。また、立憲青森県連内の各地域の支部の結成状況などが問われ、執行部や升田氏から、それぞれ答弁があり、有意義な集会となりました。

(「社民フォーラムしもきた」VOL.6 から転載)

▼会員の皆様には「下半期会費納入のお願い」が届いていることと思います。納入方よろしくお願ひします。▼八戸においては労金口座を開設しました。個別に納入したり、労組で集金したりの対応でご迷惑をおかけしましたが、おいおい整備していきますのでよろしくお願いします。(佐藤)

▼台風9号から変わった温帯低気圧による大雨で被害を受けた県内。「風間浦が孤立」というニュースを聞いて、フォーラムしもきたの栗橋さんに聞いた。「土砂崩れは近日中に応急復旧はされるだろうが、橋の復旧には相当時間がかかるだろう。原発事故避難経路構想も脆弱なことが思わぬところで露見されました。…」ということでした。(佐藤)



(挨拶する山名代表。来賓として社民フォーラム青森から藤田誠代表、平和労組三八地本から間山正茂議長それぞれから挨拶をいただいた。)



7月14日 県庁前で抗議集会

7月14日、オスプレイの訓練中止を求める東青地区集会が開催されました。

県平和労組会議・社民党・社民フォーラムの共催でしたが、44名(社民フォーラムから6名)が参加しました。(1面に関連記事)